

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024年 第6週（2月5日～2月11日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1人 類型 無症状病原体保有者 血清型 不明
四類感染症 E型肝炎	2人 推定感染地域 国内 2人
五類感染症 アメーバ赤痢	2人 病型 腸管アメーバ症 2人
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人 菌種 <i>Serratia</i> sp.
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3人 血清群 A群 1人、G群 2人
侵襲性肺炎球菌感染症	1人
梅毒	4人 病型 早期顕症Ⅰ期 3人、 早期顕症Ⅱ期 1人
百日咳	1人 年齢階級 2歳

＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症(18.29→14.87: 図 1-1～2)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少した。保健所別では、幸手(25.71)、鴻巣(23.58)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は79人(前週60人)であった。年齢階級別では、70歳以上が全体の69%を占めている。

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

インフルエンザ(24.36→29.74: 図 2-1～4)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、県内17保健所管内中、7保健所管内で定点当たり報告数30.00を上回っており、特に川口市(61.21)、南部(50.13)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、8歳及び9歳の報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(5.35→5.24: 図 3-1～2)の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であり、例年同時期と比較して高い水準にある。保健所別では、幸手(16.89)、春日部(13.33)、南部(11.60)保健所管内からの報告が多い。感染性胃腸炎(8.98→7.51)の定点当たり報告数は、前週と比較し減少したものの、依然として多い状況が続いている。保健所別にみると、春日部(14.17)、南部(13.60)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎13人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎1人、無菌性髄膜炎1人、インフルエンザ(入院)(図 2-4)11人(前週16人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧いただけます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第6週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図 1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

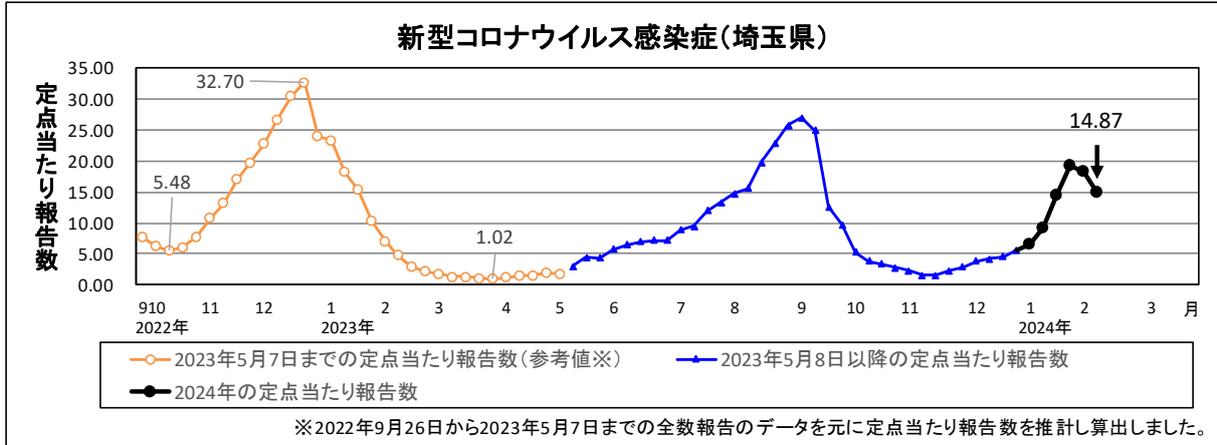
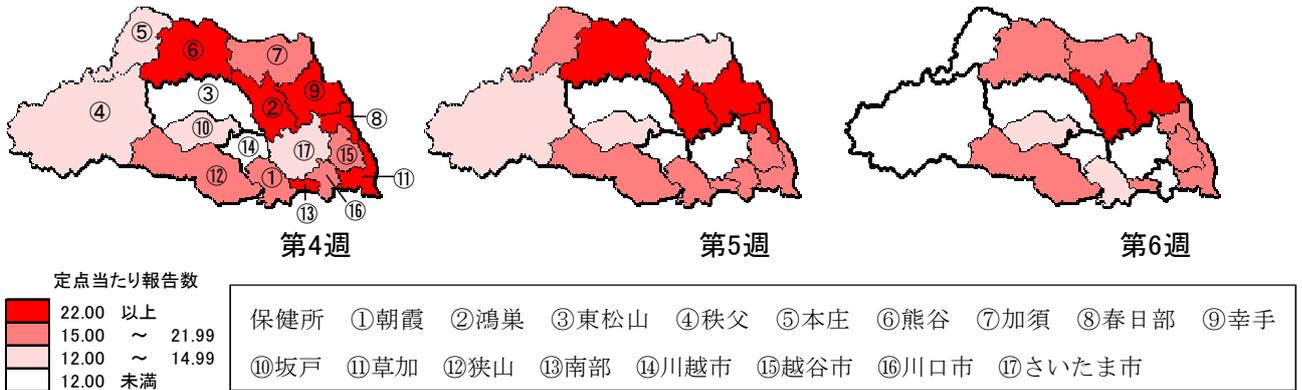


図 1-2 新型コロナウイルス感染症の保健所別流行状況の推移（2024年第4週～第6週）



<インフルエンザ流行情報（第6週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図 2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

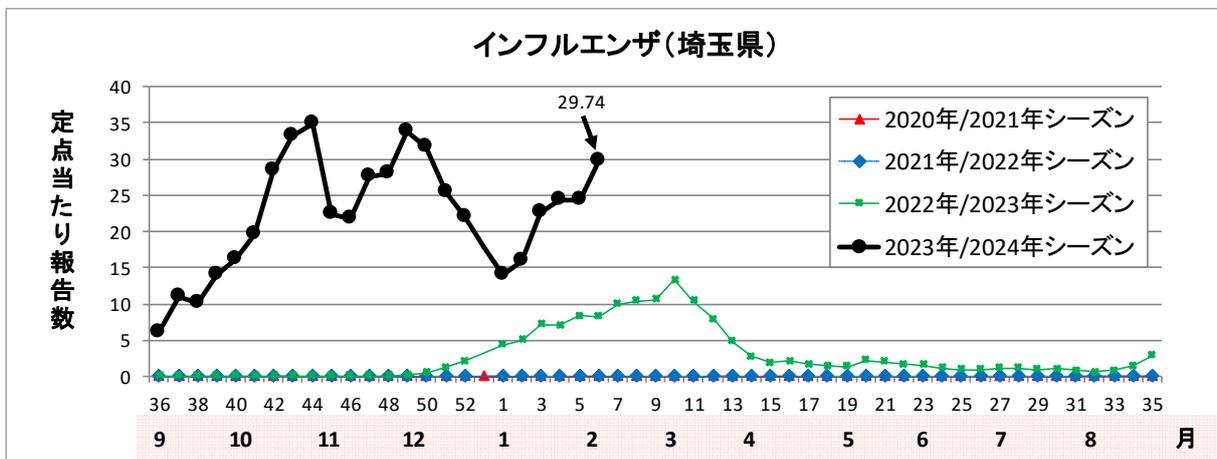


図 2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移 (2024 年第 4 週～第 6 週)

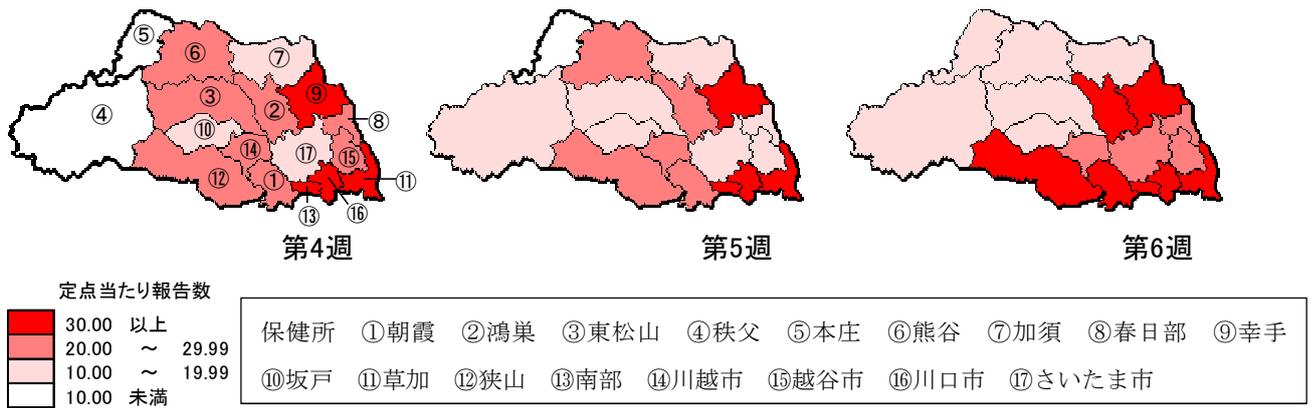
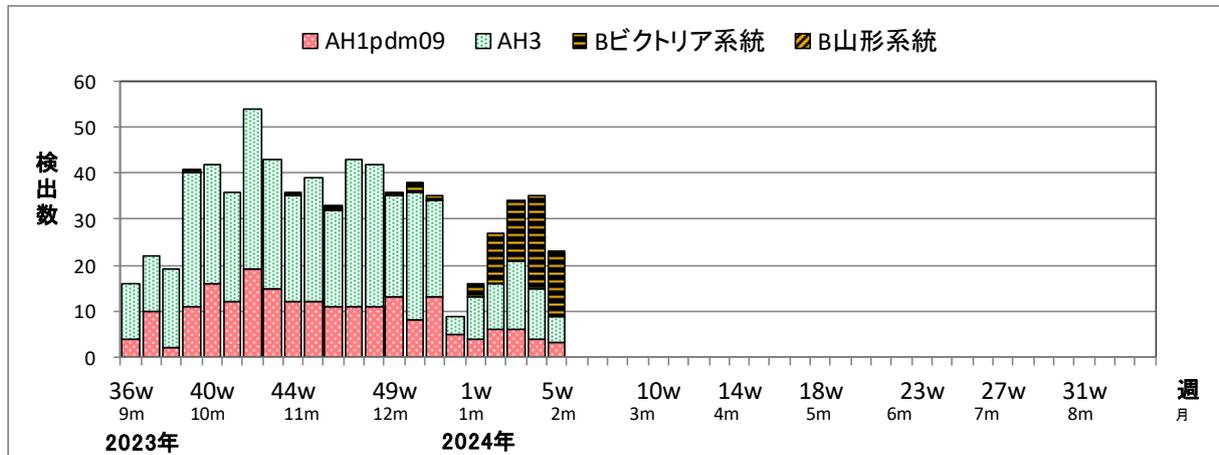


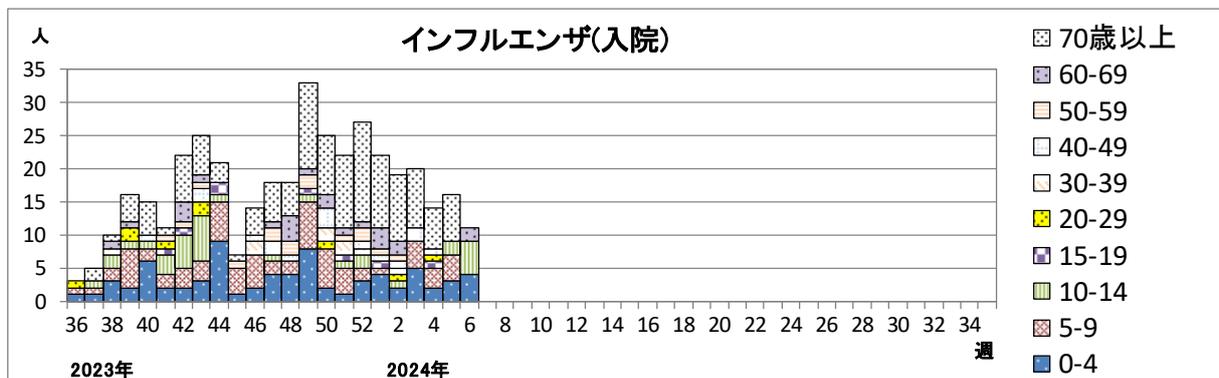
図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2024 年第 3 週～第 5 週 (2024 年 1 月 15 日～2 月 4 日) の 3 週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別の終了した 92 検体は、B 型 (ビクトリア系統) 47 件 (51.1%)、AH3 型が 32 件 (34.8%)、AH1pdm09 型が 13 件 (14.1%) でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

図 2-4 インフルエンザ (入院) の年齢階級別報告数



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第6週)

(2024年2月13日 15:45集計)

	今週 届出	累 計	2023年 累計		今週 届出	累 計	2023年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			3
細菌性赤痢			9	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症	1	8	167				
四類感染症							
E型肝炎	2	8	43	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱		1	
エムボックス			5	日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兎病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症		8	112
つつが虫病			3	レプトスピラ症			
デング熱		1	9	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	2	3	28	侵襲性肺炎球菌感染症	1	7	80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			7	水痘(入院例に限る)			13
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	10	71	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			6	梅毒	4	41	462
急性脳炎		4	39	播種性クリプトコックス症			7
クリプトスポリジウム症				破傷風			4
クロイツフェルト・ヤコブ病			8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	24	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群		2	32	百日咳	1	4	79
ジアルジア症			3	風しん			1
侵襲性インフルエンザ*菌感染症		2	9	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年1月分)

2024年1月の届出総数は、患者46人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者20人の計67人であった。前月と比べると、患者数は増加し、無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比較して、患者数、無症状病原体保有者数ともに同水準であった。推定感染地域は国内47人、国外3人、不明17人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年1月~2024年1月)

	2023年*												2024年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	累計**
総計	73	61	72	63	62	67	57	59	62	50	59	76	67	67
年齢階級														
10歳未満	1	1	1	4	2	4	1	1	0	0	0	5	2	2
10歳代	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0
20歳代	9	4	6	7	3	7	14	5	6	3	2	8	2	2
30歳代	5	6	7	10	5	1	1	3	2	3	6	7	9	9
40歳代	5	3	10	3	2	5	2	1	3	2	4	3	4	4
50歳代	8	5	7	4	7	6	5	5	10	5	10	5	6	6
60歳代	8	11	6	9	8	8	9	5	10	10	8	12	6	6
70歳代	17	13	14	10	11	12	14	19	7	10	8	10	15	15
80歳代	16	16	14	11	18	17	7	16	17	15	17	17	18	18
90歳以上	2	2	6	4	6	6	3	4	6	1	3	9	5	5
性														
男	46	32	40	45	34	38	38	40	40	29	39	44	35	35
女	27	29	32	18	28	29	19	19	22	21	20	32	32	32
類型														
患者	51	44	47	35	46	35	47	49	49	34	42	41	46	46
感染症死亡者の死体	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
無症状病原体保有者	21	16	25	28	16	31	10	10	13	16	17	35	20	20
病型														
肺結核	34	30	31	24	29	27	37	35	38	28	26	31	31	31
肺結核及びその他の結核	7	6	3	3	6	5	3	7	2	2	7	5	5	5
その他の結核	10	9	13	8	11	4	7	7	9	4	9	5	10	10
疑似症患者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
無症状病原体保有者	21	16	25	28	16	31	10	10	13	16	17	35	20	20
推定感染地域														
国内	42	43	46	44	38	41	27	37	42	31	35	50	47	47
国外	8	4	3	3	3	3	11	5	4	1	6	3	3	3
不明	23	14	23	16	21	23	19	17	16	18	18	23	17	17

*:2023年の届出数は暫定値

** :2024年1月からの累積届出数

1月に診断された67人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計31人の報告があり、60歳代以上が22人で70%を占めた。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年1月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	31	5	10	1	20	67
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	2	0	0	0	0	2
30歳代	4	0	1	0	4	9
40歳代	1	0	0	0	3	4
50歳代	2	0	2	0	2	6
60歳代	2	1	0	0	3	6
70歳代	7	1	2	0	5	15
80歳代	12	2	3	0	1	18
90歳以上	1	1	2	1	0	5

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第6週

2月5日~2月11日)

保 健 所	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)	新型コロナウイルス感染症(入院)
全 県	7,702	3,852	22	145	849	1,216	23	14	1	30	2	6	1	13	1	1	-	-	-	11	79
	29.74	14.87	0.14	0.90	5.24	7.51	0.14	0.09	0.01	0.19	0.01	0.04	0.02	0.31	0.08	0.08	-	-	-	0.92	6.58
朝 霞	741	335	-	7	92	109	5	1	-	3	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	6
	32.22	14.57	-	0.47	6.13	7.27	0.33	0.07	-	0.20	-	0.13	-	0.50	-	-	-	-	-	-	6.00
鴻 巣	619	448	1	11	62	97	-	2	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	32.58	23.58	0.08	0.92	5.17	8.08	-	0.17	-	0.08	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	95	60	-	3	11	50	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	11.88	7.50	-	0.60	2.20	10.00	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	60	47	-	5	12	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1
	12.00	9.40	-	1.67	4.00	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00
本 庄	73	76	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	10.43	10.86	-	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
熊 谷	226	215	1	8	39	59	-	6	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	17.38	16.54	0.13	1.00	4.88	7.38	-	0.75	-	0.38	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00
加 須	164	166	-	3	13	16	2	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	13
	16.40	16.60	-	0.50	2.17	2.67	0.33	-	-	-	0.17	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	13.00
春 日 部	256	174	1	8	80	85	-	-	-	5	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	25.60	17.40	0.17	1.33	13.33	14.17	-	-	-	0.83	-	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	459	360	-	38	152	37	2	1	-	-	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	32.79	25.71	-	4.22	16.89	4.11	0.22	0.11	-	-	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	130	143	-	1	6	47	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	13.00	14.30	-	0.17	1.00	7.83	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.00
草 加	737	369	2	9	45	99	3	-	-	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	38.79	19.42	0.17	0.75	3.75	8.25	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	804	399	1	17	72	68	1	1	-	1	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	5
	33.50	16.63	0.07	1.13	4.80	4.53	0.07	0.07	-	0.07	-	0.07	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	5.00
南 部	401	125	5	18	58	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	50.13	15.63	1.00	3.60	11.60	13.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
川 越 市	395	121	-	-	19	44	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	28.21	8.64	-	-	2.38	5.50	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	300	209	-	1	26	57	1	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	23.08	16.08	-	0.13	3.25	7.13	0.13	-	-	0.38	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
川 口 市	1,163	227	6	2	74	117	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	61.21	11.95	0.50	0.17	6.17	9.75	0.17	0.17	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00
さいたま市	1,079	378	5	13	87	262	6	1	-	7	-	2	-	4	1	1	-	-	-	-	21
	25.09	8.79	0.18	0.46	3.11	9.36	0.21	0.04	-	0.25	-	0.07	-	0.44	1.00	1.00	-	-	-	-	21.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

2月

13日

16:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数																				
	年齢別 (2024年第6週 2月5日～2月11日)																				
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	7,702	13	45	95	129	183	229	333	445	610	807	769	2,638	524	191	289	225	90	52	22	13
新型コロナウイルス感染症	3,852	32	84	111	80	68	73	66	82	83	96	107	466	241	328	466	421	366	266	221	195
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	22	5	4	5	2	1	1	1	-	-	1	-	2	-	-						
咽頭結膜熱	145	-	3	14	20	24	25	16	21	7	7	2	4	1	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	849	-	8	16	29	55	73	97	99	90	100	87	144	14	37						
感染性胃腸炎	1,216	6	44	123	108	102	146	113	106	83	82	59	145	21	78						
水痘	23	-	-	3	-	-	2	2	1	1	5	4	5	-	-						
手足口病	14	-	2	3	2	3	1	-	3	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	30	-	10	15	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	1	-	1	-	2	1	-	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	5	2	1	-	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	11	2	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	79	1	3	2	-	-	-	1	1	1	2	1	3	3	1	5	55				

※ 表中の数値は各定点からの報告数（-：0）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第4週 (1月22日～1月28日)

令和6年2月14日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(34.89)、沖縄県(31.83)、宮崎県(29.86)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は706例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(27例)、1～9歳(206例)、10代(56例)、20代(9例)、30代(14例)、40代(18例)、50代(26例)、60代(48例)、70代(90例)、80歳以上(212例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福島県(23.94)、愛知県(21.24)、茨城県(21.15)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は3,311例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(111例)、1～9歳(119例)、10代(44例)、20代(31例)、30代(57例)、40代(81例)、50代(166例)、60代(315例)、70代(785例)、80歳以上(1,602例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福島県(0.65)、北海道(0.58)、福井県(0.40)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第51週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(3.69)、福井県(3.60)、鹿児島県(3.41)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(9.95)、山形県(8.71)、富山県(8.10)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は香川県(13.75)、石川県(13.54)、宮崎県(12.44)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は香川県(1.07)、鹿児島県(0.86)、宮崎県(0.78)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は東京都(0.08)、大分県(0.08)、宮城県(0.07)、熊本県(0.06)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.16)、富山県(0.14)、熊本県(0.14)、高知県(0.12)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(0.09)、鹿児島県(0.08)、山形県(0.07)、埼玉県(0.07)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(1.00)、沖縄県(0.71)、福井県(0.67)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。5都道府県から12例報告があり、年齢別では1～4歳(4例)、5～9歳(3例)、70歳以上(5例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第4週(1月22日～1月28日): 通巻第26巻 第4号 より

<関東情報>

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、茨城県(21.15)、栃木県(21.01)、千葉県(20.88)、群馬県(20.66)からの報告が多い。

新型コロナウイルス感染症



		2024年 04週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	94,694	31,448	1,796	1,251	1,235	6,336	5,296	7,672	7,862
	定点当たり	19.20	20.66	14.97	16.46	14.53	24.28	26.35	18.53	21.54
新型コロナウイルス感染症	報告数	73,607	24,702	2,538	1,597	1,756	5,000	4,196	4,667	4,948
	定点当たり	14.93	16.23	21.15	21.01	20.66	19.16	20.88	11.27	13.56
RSウイルス感染症	報告数	358	84	7	12	3	13	32	11	6
	定点当たり	0.11	0.09	0.09	0.25	0.06	0.08	0.26	0.04	0.03
咽頭結膜熱	報告数	3,881	762	59	38	58	189	103	166	149
	定点当たり	1.24	0.80	0.79	0.79	1.09	1.15	0.83	0.64	0.65
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	13,617	4,212	371	158	261	940	726	1,073	683
	定点当たり	4.35	4.42	4.95	3.29	4.92	5.73	5.85	4.11	2.98
感染性胃腸炎	報告数	23,796	8,631	550	192	383	1,692	1,102	2,805	1,907
	定点当たり	7.60	9.05	7.33	4.00	7.23	10.32	8.89	10.75	8.33
水痘	報告数	406	124	3	1	6	25	13	42	34
	定点当たり	0.13	0.13	0.04	0.02	0.11	0.15	0.10	0.16	0.15
手足口病	報告数	621	70	2	7	17	13	4	21	6
	定点当たり	0.20	0.07	0.03	0.15	0.32	0.08	0.03	0.08	0.03
伝染性紅斑	報告数	63	35	1	-	-	5	2	21	6
	定点当たり	0.02	0.04	0.01	-	-	0.03	0.02	0.08	0.03
突発性発しん	報告数	638	189	3	13	16	34	32	55	36
	定点当たり	0.20	0.20	0.04	0.27	0.30	0.21	0.26	0.21	0.16
ヘルパンギーナ	報告数	92	12	3	1	1	1	1	1	4
	定点当たり	0.03	0.01	0.04	0.02	0.02	0.01	0.01	0.00	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	96	46	1	-	5	12	7	10	11
	定点当たり	0.03	0.05	0.01	-	0.09	0.07	0.06	0.04	0.05
急性出血性結膜炎	報告数	6	3	-	-	-	1	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.02	0.03	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	409	141	15	11	8	19	25	15	48
	定点当たり	0.59	0.68	0.88	0.92	0.57	0.46	0.74	0.38	0.94
細菌性髄膜炎 #2	報告数	4	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	11	4	-	-	-	-	2	-	2
	定点当たり	0.02	0.05	-	-	-	-	0.22	-	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	32	3	-	-	-	-	-	3	-
	定点当たり	0.07	0.03	-	-	-	-	-	0.12	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	12	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

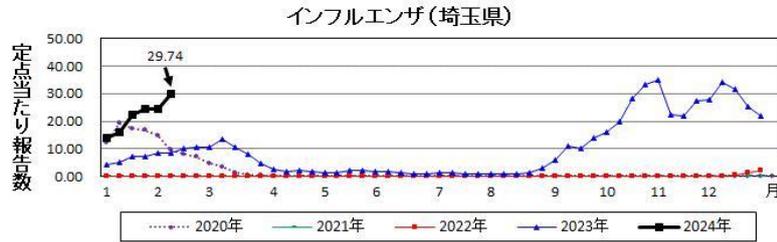
- 感染症発生動向調査 2024年**
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)

感染症の流行状況 2024年 第6週

2024年第6週（2月5日～2月11日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン